

整理番号	32002
評価対象年度	令和3年度
編成区分	当初

事務事業評価(事前)シート

提出日	令和2年12月3日
事業担当課	水産農林政策課
担当者・内線	植田・4212

《基本情報》

事務事業名	ペンギン水族館運営費(維持保全計画策定経費等)		<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大
基本施策	A3 交流のための都市機能を高め、交流を促進し、賑わいを創出します		
基本施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 図	
	まちが	より多くの来訪者や市民で賑わっている。	
個別施策	A3-1 長崎独自の観光資源を掘り起こし、磨きます		
個別施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 図	
	観光資源が	磨かれ、活用されている。	

《事業の目的及び現在の取組み概要等》

現状・問題点	令和3年度に開館後20年目を迎える長崎ペンギン水族館については、施設の老朽化が進んでいるほか、展示内容や機能に関して求められるニーズや時代・トレンドの変化に対応できていない現状がある。
目標(誰(何)をどのような状態にしたいのか)	開館から20年を迎えるが、長崎ペンギン水族館がこれからの10年、20年先も市民に親しまれ、魅力ある水族館であり続けること
課題(どういことをする必要があるのでか)	新たな投資による施設の増築や模様替えなどの機能向上を伴う積極的な改修に関する検討の開始

上記の問題点に対して現在行っている事業の有無	有 無 ※有の場合は事業概要を添付(委員会資料等)
当該新規・拡大事業を行うにあたり、縮小・統合・廃止する事業	有 無 ※有の場合は事業概要を添付(委員会資料等) 新規・拡大事業を行うためには、今までやってきた取組みを検証し、成果や効果が低い事務事業の終了も含めた「選択と集中」に努めることが不可欠です。

《事業の概要》

事業の具体的内容 (対象、事業主体、事業期間、総事業費、事業費内訳等記載)	<p>【事業の具体的内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ハード面での劣化の状況把握と今後の維持コスト算出 <ul style="list-style-type: none"> ・維持保全計画策定【7,500千円】 今後の安定的な水族館運営のため、建物、設備等について劣化の状況を把握し、今後の維持管理コスト算出を含めた維持保全計画を策定するために要する経費。 ●ソフト面での社会的劣化の状況を把握するための専門家ヒアリング <ul style="list-style-type: none"> ・専門家ヒアリング【1,000千円】 平成29年度に実施したペンギン水族館あり方検討業務委託で示された「研究」「展示・サービス」「集客・収益」「地域振興」の4つの方向性を基に、求められる具体的な施設要件及び機能、展示内容等について水族館プロデューサー、水族館プランナー、ペンギン会議研究員等の水族館運営及びペンギンの飼育等に精通した外部専門家から意見を徴収し、今後のリニューアル検討の参考とする。 100,000円×2回×5人
--	---

業務量の増減	450時間の増						
市民等の参画と協働のまちづくり (取組みに☑をし、その内容を記載)	<input checked="" type="checkbox"/> 情報共有 <input type="checkbox"/> 参画 <input type="checkbox"/> 協働						
事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 単年度繰り返し <input type="checkbox"/> 期間限定 (年度～ 年度)						
予算額		金額(千円)	国	県	地方債	その他	一般財源
	当年度	8,500					8,500
	総額						
	財源名称						
成果(活動)指標	指標(単位)	維持保全計画の策定の進捗率(%)					
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	目標値	100					
	成果指標及び目標値の説明	維持保全計画策定を伴う事業であるため、策定をもって成果とする。					

評価結果

(1)今後の事業の方向性と理由	
<input checked="" type="checkbox"/> 採択	<input checked="" type="checkbox"/> 所管案のとおり <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 事業規模拡大 <input type="checkbox"/> 事業規模縮小 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/> 不採択	<input type="checkbox"/> 企画不十分
<input type="checkbox"/> 一部不採択	<input type="checkbox"/> 企画不十分
(2) 評価会議における指摘事項	
<p>開館後20年目を迎える長崎ペンギン水族館については、施設の老朽化が進んでおり、また、展示内容や機能について求められるニーズやトレンドの変化に対応できていない状況である。</p> <p>そのため、建物や設備の劣化状況を把握し、市公共施設保全計画で定める目標使用年数である令和48年度までの年度ごとの補修設計を含めた維持保全計画を策定するものである。</p> <p>大規模な修繕や機器の取替えの時期が明確となり、施設の増築や模様替え等の機能向上を伴う積極的な改修(リニューアル)を実施する場合の適切な時期の見極めが可能となり、水族館の安定した運営と、魅力向上につながることから事業の実施は適当である。</p>	